

日本顎変形症学会雑誌投稿規定

〔平成 9 年 7 月 23 日改訂〕

〔平成 10 年 11 月 30 日改訂〕

〔平成 14 年 7 月 30 日改訂〕

〔平成 20 年 12 月 15 日改訂〕

〔平成 25 年 6 月 22 日改訂〕

〔平成 31 年 1 月 22 日改訂〕

〔令和 2 年 9 月 28 日改訂〕

〔令和 6 年 12 月 24 日改訂〕

〔令和 7 年 5 月 1 日改訂〕

1. 本誌への投稿は本学会会員に限る。ただし、編集査読委員会がとくに投稿を依頼したものは、その限りではない。
2. 投稿論文の内容は本学会誌にふさわしい原著および臨床論文で、未発表のものに限る。
3. 原稿は和文または英文とする。原稿は、緒言（はじめに）、研究方法（対象・方法）、結果、考察、結語（おわりに）の項目の順とし、本文のみに通し頁を入れる。ただし、行数の通し番号は表紙を含め頁ごとに入れる。症例報告については、緒言、症例＜患者、初診、主訴、家族歴、既往歴、現病歴、現症（検査所見なども含む）、診断、治療経過、治療結果＞、考察、結語の項目の順とする。原稿はワープロソフトを使用して印刷し、大きさは A4 判用紙に 30 字×25 行で印字する。なお、編集査読委員会で最終的に受理された投稿論文には、保存形式（ソフト名など）を明記した記録用メディアを添付し提出する（別掲「記録用メディア等の提出について」を参照のこと）。
4. 症例報告を投稿する場合は、雑誌掲載に対する患者本人（代理人、小児では保護者）の資料に関する同意を得るものとし、同意書を投稿時に添付すること（同意書のコピーは投稿時に添付する）。
5. 人を対象とする研究論文の投稿に際しては、所属機関あるいは所属施設の倫理審査委員会の承認を得ることを必須とする。
6. 原稿の長さは、原則として刷り上がり 10 頁（1 ページは全角 2000 字、図表を含む）以内とする。
7. 図（グラフ、写真）、表は原則として英文表記とし、A4 版写真用紙に印刷する。但し、アンケートやクリニカルパス表などは英文と和文を併記する（顎変形症学会統一用語および用法、項目 6. 参照）。図、表は印刷に十分な品質のものとすること。裏面に著者名、上下方向を明示し、Fig. ○○、Table ○○と番号を付ける。図表には標題をつけるとともに、英文で論文内容が理解出来るよう、主な所見についての簡潔な説明をつける。英文校正のため、対応する

日本語訳も記載する。カラーを希望するものは貼付用紙に朱書きで明記する。原稿には欄外に図表挿入箇所を朱書きで明示する。

8. 数字はアラビア数字、単位符号は m, cm, mm, μ m, nm, cm^2 , mL, L, kg, g, mg, μ g, ng, $^{\circ}\text{C}$, % などに準じたものを使用する。なお、本文、図表、英文・和文抄録では数値と単位の間には必ず半角スペースを入れること（ $^{\circ}\text{C}$ と%を除く）。
9. 和文論文では、学術用語は原則として日本語とし、日本解剖用語（日本解剖学会編、最新版）、文部省学術用語集（歯学編-増訂版）、医学用語辞典（日本医学会編）などに準じ、かつ日本顎変形症学会の統一用語を用いる。外国の人名、地名は原語とする。
10. 400 語以内の英文抄録およびそれに対応する和文抄録を添付する。英文抄録はダブルスペースで印字する。和文は本稿に準ずる。
11. 総索引の分類に用いる Key word 3 語を英文抄録のあとに英、和語にて記入する。
12. 引用文献は本稿に直接関係のあるものに止め、編末に引用順に一括する。また本稿中引用箇所に肩番号を付する。

引用文献の英文雑誌の論文標題名は、最初の文字のみ大文字とし、あとは固有名詞以外の単語は小文字とする。著者の引用に関しては、各語の最初の文字を大文字に統一する。雑誌略名は、和文誌は医学中央雑誌略名表（医学中央雑誌刊行会編）、英文誌などの外国雑誌は List of Journals Indexed in Index Medicus に準じる。

文献記載例

雑誌の場合 著者名（筆頭著者名、他）：標題名、掲載誌名（略名）、巻（号数不要）：最初の頁-最後の頁（通巻頁）、発行年（西暦）。

<例>和文誌の場合

篠原亨太郎、他：RED システムにより Le Fort I 型骨延長術を行い反対咬合および上顎側方偏位を改善した Crouzon 症候群

の1例. 日顎変形誌, 18: 30-48, 2008.

<例>英文誌の場合

Lo, J., et al.: Simulation model for endoscopically assisted fixation of the intraoral vertical subsigmoid ramus osteotomy. Asian J Oral Maxillofac Surg, 16: 103-108, 2004.

単行本の場合 著者名(筆頭著者名, 他): 引用部分の標題名, 単行本全体の編(監)者名: 書名, 版, 書店名, 発行地, 発行年(西暦), 引用頁(最初の頁-最後の頁).

<例>単行本の場合

Cisneros, G.J., et al.: Sleep apnea. Bell, W.H.: Modern Practice in Orthognathic and Reconstructive Surgery, 1st ed., W.B. Saunders Co, Philadelphia, 1992, p2020-2041.

電子版掲載文献(オンラインジャーナル)の場合 著者名: 標題, 掲載誌名, 巻: 引用頁, 発行年, 入手先[参照年月日]. デジタルオブジェクト識別子(DOI: Digital Object Identifier)が必要な場合は記載可。

紙媒体に先行した電子版で「巻: 引用頁, 発行年」などの情報が無い場合は, 掲載誌名の後に(先行電子版)または(E-pub ahead of print)と記載し, 電子版に掲載された年を記載する。

<例>英文誌の場合

Savage, E., et al.: Mumps outbreaks across England and Wales in 2004: observational study. BMJ. 330: 1119-1120, 2005.
<http://bmj.bmjournals.com/cgi/reprint/330/7500/1119>. [accessed May 31, 2005].
doi:10.1136/bmj.330.7500.1119.

Mikoya, T., et al.: Dental arch relationship outcomes in one- and two-stage palatoplasty for Japanese patients with complete unilateral cleft lip and palate. Cleft Palate-Craniofac J. (E-pub ahead of print, 2014).

Web サイトの場合

Web 上の資料については, 情報の追加や変更が行われる可能性があることから, 官公庁などの公的機関のもの以外の引用は出来るだけ避ける。やむをえず引用する場合は, 以下の方式とする。

著者名: Web サイトの標題名, Web サイ

トの名称, 更新日付, URL (アクセス日).

<例>厚生労働省. “患者誤認事故防止方策に関する検討会報告書”. 厚生労働省ホームページ. 1999.5.12. http://www1.mhlw.go.jp/houdou/1105/h0512-2_10.html (参照 2014.7.10).

新聞の場合

執筆者名(署名入りの場合): 記事名, 新聞名(地方版名), 発行年月日, 朝夕刊の別(版), 該当面またはページ(誌面名).

<例>△社の〇〇を発表. 朝日新聞(東京本社), 2007年10月5日, 朝刊(10版), 5面(経済面).

学会発表抄録は原則として引用文献として認めない。とくに必要な場合は標題のあとに(抄)を付記する。

13. 冒頭に表紙をつけ, 標題名, 著者名, 所属(所属機関の主任もしくは指導者名)を和文, 英文の順に記載する。所属は公式の名称を用いる。そのあとに, 和文論文では和文で, 英文論文は英文でランニングタイトル(和文25字以内, 英文10 words 以内)を記載する。ランニングタイトルは本誌奇数頁, 上の欄外に印刷される。英文著者名はローマ字表記で姓・名とも大文字を使用する。筆頭著者と所属を異にする共著者名の右肩および所属機関前に1), 2) …5) …, などのようにアラビア数字を付ける。校正原稿, 別刷の送付先もしくは連絡先, 投稿料請求先の異なる場合は請求先を明記, 別刷必要部数を朱書きとする。

14. 原稿は投稿票に主任者の署名, 捺印のうえ, 表紙, 英文抄録(対応和文), 本文, 引用文献, 付図の順に綴じて, オリジナル1部, コピー3部を同封し, 書留にて下記宛に送付する。

[送付先]

〒135-0033 東京都江東区深川 2-4-11

一ツ橋印刷株式会社学会事務センター

特定非営利活動法人日本顎変形症学会事務局

TEL 03(5620)1953

FAX 03(5620)1960

なお, 著者の手元にコピーを残されたい。

15. 投稿論文は編集査読委員会で審議して採否を決定する。掲載は原則として受付順とし, 受付日を明記するが, 編集については編集査読委員会に一任されたい。
16. 投稿料は6頁まで無料(図表は含まず), 図表および超過分の費用の80%を個人負担とする(ただし, カラーの図表は全額個人負担とする)。別刷は50部以上とし, 実費は各自負担とする。
17. 掲載原稿の著作権は, 本学会に帰属するものとする。

(注意事項)

他誌に発表あるいは投稿中の論文は、二重投稿 (duplicate publication) となり著作権を侵害する行為になりますので本誌への投稿はご遠慮ください。

英文論文の投稿規定 (Guide for authors) は、学会ホームページ (<https://jaw-deform.jp/index.html>) から入手出来ますので、ご参照願います。